



2017年6月

居住者の皆様へ

Asahi Monthly Report

〔防犯対策について〕

「マンションは高層だから泥棒の被害に遭わない」「最新のオートロックシステムがついているから安心」などとお考えの方も多いのではないのでしょうか。

警察庁によると、住居侵入事件の認知件数は、平成25年は57,891件となっており、まだまだ多い件数となっています。このうち、4階建て以上の中高層マンションは全体の9%を占めています。

- 特殊な金属棒を鍵穴に差し込む「ピッキング」が約550件（前年約190件）
- 玄関ドアに穴を開けて内側の鍵つまみを回す「サムターン回し」が約290件（同100件）
- 郵便受けを壊して同様につまみを回す「郵便受け壊し」も約270件（同約40件）

マンションにおいて窃盗など犯罪が多い理由としては、下記が上げられます。

- ◎ コミュニティが希薄で、「隣の人の顔を知らない」ため、犯行途中で犯人と出くわしても気づかない。
- ◎ 少々物音を立てても誰も不審に思わない。（他人に無関心）

資金を投資してマンション防犯設備をグレードアップする方法もありますが、上記のことから、まずは、近隣との良好なコミュニティの形成を行い、部外者が侵入しにくい環境を作り上げるといったすぐに行える対策をおすすめします。防犯意識を持った人の輪により防犯環境を作ってみてはいかがでしょうか。

- ★ 挨拶の励行（隣の人の顔がわからない状況をやめる）
- ★ 防犯強化のための管理組合としての取り組み
- ★ 住民による見回り防犯（パトロールなど）
- ★ ゴミは、定められた場所に定められた日時、方法を守り出す。（侵入者はゴミの日以外にゴミが出されている状態でコミュニティの希薄さを感じ取り、犯行しやすい環境だと判断する）